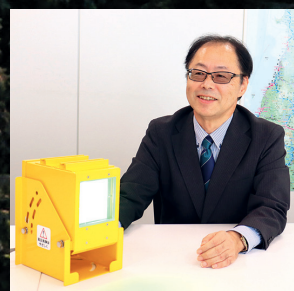


高速道路の点検・保全を通じて、 安全・安心を技術で支える

夜間作業中の車両とお客様の車両の安全を守るために開発された「セーフティライン」は、高速道路上に緑色のラインを照射することで安全運転をサポート。緑色のラインを1本の線で標示している点が新しく、全国に広がっています。



技術開発営業部 技術開発営業課 専門員
いずみ けんじ
泉 顕次さん



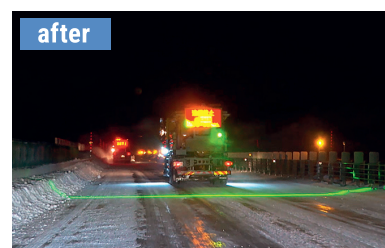
株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北

セーフティラインの緑色の光で 暗い雪道作業に目印を描く

雪の多い東北地方では冬季に、高速道路に積もった雪を取り除くための除雪作業車や、路面が凍らないように凍結防止剤を散布する散布車が高速道路を走っています。「セーフティライン」は夜間、雪で見通しが悪い中でも安全・安心に走行できるように、積水樹脂株式会社と協力してさまざまなテストを繰り返し、開発した製品です。



ライトの色や明るさ、照射角度、雪などが付着しづらい素材など、使われる環境を考慮して仕様を決定。考え得るさまざまな可能性を考慮・検討し、実証実験を実施することで、「セーフティライン」は完成しました。また車両後方から約7mの距離に緑色のラインを照射することで、後方車両から見えやすい照射を実現しています。



POINT

ライトの色は、国際照明委員会により人が見やすいとされている緑色を採用。また、LEDを使用しているため直接この光を見ても安全です。



お問い合わせ

株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北

宮城県仙台市青葉区花京院2-1-65 いちご花京院ビル
☎ 022-713-7277
🌐 <https://www.e-nexco-engito.co.jp>

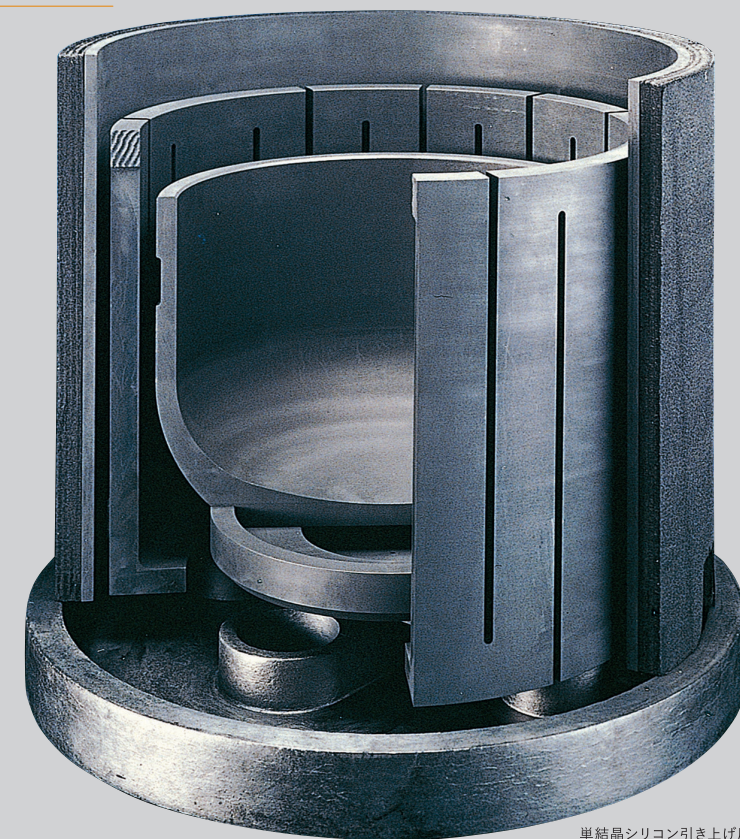


カーボン（炭素）の可能性を引き出し、 産業と社会の発展に 貢献する製品づくりを

身近な製品にも使われているカーボン（炭素）。その優れた導電性や耐熱性といった特性を活かし、さらに高い性能をもたせた「特殊炭素製品」と呼ばれる工業製品を製造販売。その可能性は、半導体や航空宇宙などの先端分野にいたるまで、広く産業を支えています。



仙台工場 製造部 製造1課
うつみ りゅうと
内海 龍人さん



単結晶シリコン引き上げ用部品

日本テクノカーボン株式会社

高度な成形技術を駆使し 多彩なニーズに対応

多彩な成形技術を有し、お客さまのニーズに細かく対応できる点が強みです。水圧によって等方的に加圧成形するCIP成形や、トコロテンのように押し出して連続的に成形する押出成形など幅広い成形技術を駆使して、カーボンの素材を製造。特に独自開発の「メタファイト」は、画期的な材料として注目を集めています。



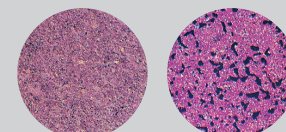
カーボンの素材を製造するには、原料を粉碎・配合して成形後、約1,000℃の熱で1〜2カ月間焼成した後、約3,000℃の熱で黒鉛化させます。独自の技術により、長い時間をかけて獲得した素材の機能性を活かし、主にグループ会社である株式会社NTCMで機械加工が行われ、製品化されています。

POINT

「メタファイト」は、独自開発の高密度・高強度な超高密度の炭素材料。超精密加工や光学系といった高い精度が要求される分野で活用されています。

メタファイト

CIP材



黒鉛材の偏光顕微鏡写真

お問い合わせ

日本テクノカーボン株式会社

宮城県黒川郡大郷町川内字中坪山62-6
☎ 022-359-2611
🌐 <https://www.technocarbon.co.jp>

